

グラウンド・ゴルフ ガイドブック

国際グラウンド・ゴルフ連盟の創設を機に発刊したこのガイドブックが、国際的に広く普及してきたグラウンド・ゴルフの正しい理解に資するとともに、世界各国のグラウンド・ゴルフ愛好者が、グラウンド・ゴルフを通じた国際友好と国際交流を深めていくことに役立つことを期待します。

このガイドブックは、次の内容で構成しましたが、できるだけ読み易くするためビジュアルな内容を心掛けました。このガイドブックによって、世界各国のグラウンド・ゴルフ愛好者がグラウンド・ゴルフに対する理解を一層深めていただければ幸いです。

1. グラウンド・ゴルフの国際組織創設の主旨	1
2. グラウンド・ゴルフの誕生	2
3. グラウンド・ゴルフの理念	3
4. グラウンド・ゴルフの特徴とゲームの特性	5
参 考 国際グラウンド・ゴルフ連盟所在地	9

日本で誕生したグラウンド・ゴルフによる友好、健康、平和の輪を世界へ ！！



国際グラウンド・ゴルフ連盟

IGGF

1. グラウンド・ゴルフの国際組織創設の主旨

グラウンド・ゴルフの国際的な普及状況を踏まえ、世界のグラウンド・ゴルフを統括する組織を創設し、世界各国へ日本で誕生したグラウンド・ゴルフの正しい普及を図ることが国際組織創設の主旨です。

加えて、グラウンド・ゴルフの国際的普及を推進することによって、長寿高齢化社会を迎えた世界各国の人々の健康体力の維持増進を図ったり、グラウンド・ゴルフを通じた相互交流や相互理解を深めることによって、明るく豊かで平和的な国際社会の実現に貢献することも国際組織を創設する目的です。

国際グラウンド・ゴルフ連盟がこのような目的達成のため大きく発展していけるよう、世界各国のグラウンド・ゴルフ愛好者のご支援とご協力をお願いします。

なお、グラウンド・ゴルフは、2027年に日本で開催されるワールド・マスタース・ゲームズ関西の正式種目となりました。世界各国からグラウンド・ゴルフ愛好者が日本へ集う機会を契機として国際組織が創設されたことは極めて意義あることであり、今後における世界的なグラウンド・ゴルフの普及発展に大きく役立つものと確信します。



国際グラウンド・ゴルフ湯梨浜大会に参加した各国プレーヤー

湯梨浜はグラウンド・ゴルフの発祥地

2. グラウンド・ゴルフの誕生

グラウンド・ゴルフは、1982年に日本で誕生しました。

当時、文部省は将来の生涯スポーツ社会を志向して、国民が楽しめる様々なスポーツの研究開発を国内の各区市町村に積極的に奨励していました。

そのような折、鳥取県泊村（現湯梨浜町）が、国の補助制度を活用し、大学教員やスポーツの専門家たちの協力を得て考案したのがグラウンド・ゴルフです。

グラウンド・ゴルフ発祥の地が泊村（とまりそん）であることを後世に残すため、ルール第4条には「ホールポストの中にボールが静止した状態をトマリという」と明記されています。

なお、グラウンド・ゴルフという名称は、地域で生活する人たちにとって最も身近な場所である学校のグラウンドでも楽しめるように、いつでも、どこでも、だれでもできるスポーツを目指したことに由来します。したがって、特別なスポーツ施設にまで出かけなくても安全にプレーする場所さえあれば、日常的な活動として楽しむことができます。

グラウンド・ゴルフは、高度な技術や強い体力を必要とせず、しかも集中力や調整力を発揮する場面と、力を発揮する場面がうまく組み合わせられています。また、ルールがごく簡単のため、初心者でもすぐに取り組みます。このグラウンド・ゴルフは、子どもから高齢者まで、男性でも女性でも、また、障がいのある人もない人も一緒に楽しめ、共生社会においてあらゆる人々が楽しむことのできるスポーツといえます。

日本では、グラウンド・ゴルフが誕生すると瞬く間に全国的に愛好者が増えました。その理由は何よりもグラウンド・ゴルフそのものの楽しさが人々に広く受け入れられたからにほかなりません。また、グラウンド・ゴルフがこのように普及したのは、グラウンド・ゴルフが誕生した1980年代から長きにわたり、用具の研究・開発・製造に全面的にご協力をいただいた世界的スポーツメーカー“アシックス”の存在を忘れることはできません。

今日、日本では300万人以上の愛好者がいます。このように愛好者が増えた理由は、グラウンド・ゴルフの特徴の項目を読んでいただければ理解していただけると思いますが、その前に、グラウンド・ゴルフが誕生した当時から今日まで大切に守られてきた「理念」を読んでいただき、グラウンド・ゴルフの基本的な考え方をよく理解いただきたいと思います。



G G 発祥の地のモニュメント



国際大会の始球式でホールインワンをねらう各国代表者
(G G 発祥地「湯梨浜町」にて)

<注> このガイドブックの写真で用いているG Gは、グラウンド・ゴルフのことを意味します。

3. グラウンド・ゴルフの理念

日本に生涯スポーツの概念がまだ定着していなかった1980年代に、生涯スポーツのモデルにしたいという強い思いで研究開発されたのがグラウンド・ゴルフです。

グラウンド・ゴルフ愛好者は、「プレーする人」、「自分自身を指導できる人」、「自分自身を審判できる人」という3つの側面を兼ね備え、生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる人間のモデルにしたいという考えが根底にあります。

今日グラウンド・ゴルフが多くの人々に受け入れられているのは、この考えや次に掲げる理念が大切に受け継がれているからにほかなりません。

世界のさまざまな国において、今では生涯スポーツが積極的に推進されていますが、世界中のグラウンド・ゴルフ愛好者は、グラウンド・ゴルフの理念を正しく理解し、フェアプレーやグッドマナーを心掛け、いろいろな国の人々と楽しく気持ちよくプレーして、友情、健康、平和の輪を広げてください。

1 グラウンド・ゴルフは、「人間を重視するスポーツ」です。

グラウンド・ゴルフはスポーツに人を合わせるのではなく、プレーする人にスポーツを合わせるという考えを重視しています。他のスポーツのように多くのルールに縛られることなく、わずか16条のルールで、しかも高度な技術を必要とせず、老若男女や健康・障がいの別もなく、いつでも、どこでも、だれでも楽しむことのできるスポーツです。

しかも、健康長寿社会を迎えつつある世界各国において、人々が一生を通じて楽しむことのできる生涯スポーツでもあります。

さらに、ルールの冒頭にエチケット・マナーが掲げられていることから、人としての品位や正しい振る舞いが重視されるスポーツであることを理解してください。



富士山をバックにGGを楽しむプレーヤーたち



GGを楽しむ各国のプレーヤー（スペインにて）

2 グラウンド・ゴルフは、「結果を含めた過程を重視するスポーツ」です。

グラウンド・ゴルフは、プレーの結果としての勝ち負けより、そこに至る過程が大切にされ、プレーヤー同士の交流や触れ合いなどが重視されます。コミュニケーション力が高まることによって仲間の広がり生まれ、人間関係の良好な構築にも好影響が期待できます。

また、グラウンド・ゴルフには、だれが勝つか負けるか分からないという結果の未確定性があります。

ホールインワンを達成するとマイナス3になるのはこのような考え方によるもので、グラウンド・ゴルフの大きな特徴です。スポーツ経験の少ない人でも成績が上位になる可能性があ

り、そのことでスポーツの楽しさや喜びを味わうことができ、スポーツを継続してやろうとする意欲も高まるのです。



入賞カップを前にお互いの健闘を称え合うプレーヤー

3 グラウンド・ゴルフは、「自律的な行動を重視するスポーツ」です。

グラウンド・ゴルフは、プレーヤーの自律性を重視し、自分自身を審判する公平性や公正さが強く求められます。審判がないのはこの考え方を重視しているためです。グラウンド・ゴルフは、ルール違反をする人はいないという前提で成り立っています。

自分に都合の良いようにルールを解釈する人や、平気でルール違反をする人がいれば、これらの人は規範意識や倫理観に欠けており、本当にグラウンド・ゴルフを愛する心は持っていないといえます。自らを律することができなければ、グラウンド・ゴルフをする資格は無いといっても過言ではありません。グラウンド・ゴルフは、自分自身がプレーヤーでありレフリーなのです。



日本の木「桜」の下でGGを楽しむプレーヤー

4. グラウンド・ゴルフの特徴とゲームの特性

グラウンド・ゴルフは、ゴルフをアレンジしたスポーツで、クラブでボールを打ち、ボールがホールポスト内に静止した状態（トマリ）までの打数を数えます。今では、世界各地でグラウンド・ゴルフをプレーする人を見ることができるようになりました。これほど多くの人々に愛好されるようになったグラウンド・ゴルフは、次のような特徴とゲームの特性があります。

（１）特徴

○ 誰にも勝つチャンスがある

ゲームの前から勝ち負けが明らかに分かっているスポーツには、誰も魅力を感じないでしょう。グラウンド・ゴルフは、年齢、性別、体力、運動能力、障がいの有無などがプレーの結果に影響することがないように、各ホールの距離や用具などを工夫し開発されたスポーツです。

○ 初心者ほど多くプレーする

多くのスポーツでは、技能の優れた人ほど勝負に挑むプレーの機会が多くなりますが、グラウンド・ゴルフでは、技能が未熟な人ほどプレーの機会が多くなります。それは自分のために努力、工夫する機会が多くなることであり、その過程を通して技能が上達することになります。

○ 自分の責任でプレーする

グラウンド・ゴルフは審判員を必要としません。自分の責任でプレーし、自分自身が自分自身を審判します。グラウンド・ゴルフは、プレーヤー同士がお互いに教えあい、学びあうというスポーツの原点を大事にするスポーツです。



プレーヤー宣誓

（２）ゲームの特性

グラウンド・ゴルフは、「いつでも」「どこでも」「だれでも」できるという楽しいゲームの特性がすべて備わっています。

○ どこでもできる

規格化されたコースは必要としません。プレーヤーの目的、環境、技能などに応じて、公園、運動場、河川敷、広場など、どこでも自由にコースを設定することができます。



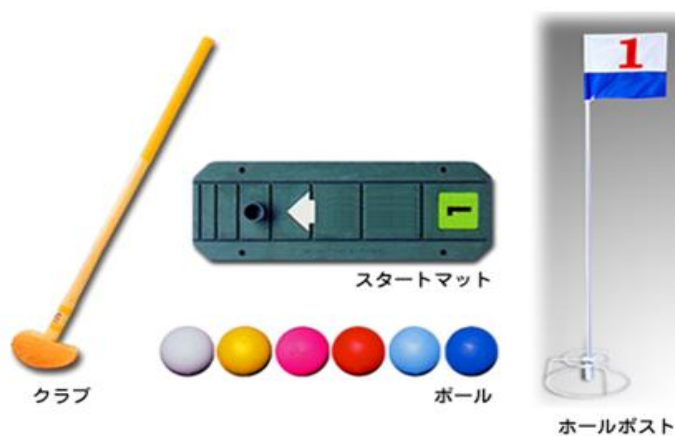
大自然の中でGGを楽しむプレーヤーたち
(モンゴルで開催されたアジア大会)



雪かきをする雪国のプレーヤーたち

○ 準備は簡単

ゴルフのように穴を掘る必要がなく、スタートマットとホールポストを設置するだけで準備は完了です。



GGのプレーに必要な用具

○ ルールは簡単

他のスポーツに比べてルールがきわめて簡単で、一度プレーすれば誰でも覚えられます。



ルールの講義に耳を傾ける日本協会の普及指導員

○ 時間の制限がない

ゲームの時間が決まっていないので、時間に制約されることなく、技能の水準や仲間の数、あるいはコースの特性に応じて、プレーを楽しむことができます。



プレーを楽しむ沢山の大会参加者

○ プレーヤーの数に制限がない

グラウンド・ゴルフは、一人でもあるいは場所さえあれば一度に何百人もの人がプレーを楽しめます。ボールが空中を飛ぶことはないので、ホールの設置場所を工夫すれば、各ホールから同時にスタートしても、安全にプレーすることができます。



千人近い大会参加者



プレーオフを見守る大会参加者



ヨーロッパ大会 2024 の参加者

○ 審判は自分自身

ゲーム中の審判は、プレーヤー自身が行います。判定が困難な場合には、同伴プレーヤーに同意を求めます。



スコアの確認をするプレーヤー（スペインでのヨーロッパ大会、日本でのレディス大会）

○ 高度な技能がなくてもできる

グラウンド・ゴルフの技能は、他のスポーツと同じようにトレーニングによって向上します。しかし、ゲームを楽しむためには必ずしも高度な技能を必要としません。子どもから高齢者まで全ての人が、楽しくプレーすることができます。

したがって、グラウンド・ゴルフはファミリースポーツとしても楽しむことのできるスポーツでもあるのです。



子どもも



中高年も



車椅子の人も



ファミリーも



みんな笑顔でグラウンド・ゴルフを楽しみましょう！

参考 国際グラウンド・ゴルフ連盟（IGGF）所在地

IGGF 事務局 (Japan Sport Olympic Square 7F 703 号)

ジャパン スポーツ オリピック スクエア



住所 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2

E-mail: info@groundgolf.or.jp

Tel 03 - 5843 - 1097 5843 - 1098

Fax 03 - 5843 - 1095

周边地图



交通アクセス

- 地下鉄銀座線「外苑前駅」3番出口から10分程度
- 地下鉄大江戸線「国立競技場前駅」A2出口から15分程度
- JR「千駄ヶ谷駅」又は「信濃町駅」から20分程度